

地域学校協働本部だより

令和7年

第2号

人づくり・つながりづくり・地域づくりの取組を発信！

令和7年度「学校と地域が共創する宇和島未来づくりフォーラム」



令和7年8月2日土曜日、宇和島市庁舎大会議室で「学校と地域が共創する宇和島未来づくりフォーラム」が開催され、市内の学校やPTA、公民館、学校運営協議会関係者等、100名近くが集いました。

オープニングでは、山村教育長から「教育を通して地域の魅力を学ぶふるさと教育」と「自分の生き方について考えるキャリア教育」を相乗させる『宇和島ふるさとキャリア教育』が力強く提唱されました。一人一人が自己肯定感と自己有用感を持って「自分らしい生き方」を歩んでいけるように、「郷育」「響育」「協育」「共育」という言葉であらわされる四相で、学びの場を縦にも横にもつなげていく取組が必要であると、期待を込めて語られました。

ここにいる一人一人が未来づくりの当事者—教育長からのメッセージに応えるように、中川奈美さんの講演は、「わたしができること、あるかもしれない！」という、会場に響き渡る明るい声で始まりました。

宇和島アンバサダーでもある中川さんが、大ヒットアニメ「鬼滅の刃」で活躍するに至ったエピソードは、物事のマイナスに目を向けるのではなくプラスのところにフォーカスすることで挑戦の扉が開かれ、信頼と実績を得ることができるのだと教えてくれるものでした。

また、宇和島で撮影された動画を背景にステージで披露された歌唱には、圧倒されながらもうれしそうに映像に目を凝らす人たちの姿があり、中川さんの「ふるさとの魅力を歌と映像で伝える」「わたしが持っている芸術で人を幸せにする」という言葉が体現されたひとときでした。

今やアニメ、ゲーム、ナレーションなど多方面でひっぱりだこの中川さんですが、新たに経済面でも宇和島に貢献しようと考え、事業を立ち上げたそうです。故郷への思いとその行動力！「自分らしい生き方」を歩む中川さんの姿は「宇和島ふるさとキャリア教育」のロールモデルであり、宇和島の子どもたちに知らせたい・出会わせたい「すてきな大人」でした！



「わたしができること
あるかもしれない！」

「わたしがしたことで
人が幸せになることを
したいと思う」



中川奈美さん講演
私と宇和島
～子どもたちに伝えたいこと～

「マイナスをとらえず
プラスのところに
フォーカスする」

「ふるさとの魅力を
歌と映像で伝える」

活動紹介

宇和島市6中学校合同生徒会



全国でも珍しい、学校を超えた合同生徒会活動「宇和島KITAI」。メディアでもさかんに取り上げられた「予土線応援プロジェクト・駅前マルシェ」について、当日までの道のりや、準備を通して実感したそれぞれの地域・学校の特色、仲間の広がりなどが生徒自身の言葉で語られました。

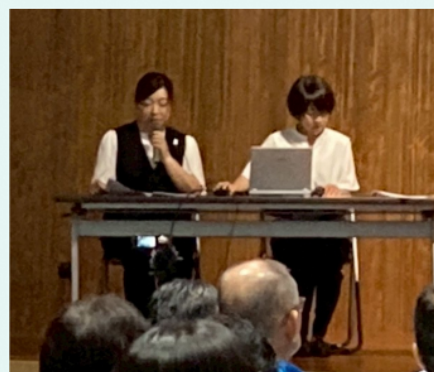
「人と人をつなぐ架け橋になりたい」「後輩たちに活動を守り、伝えたい」という言葉に、ますますKITAIが高まりました！

実践報告

宇和島市立宇和津幼稚園

「架け橋期」（義務教育開始前の5歳と小学校1年生の6歳の2年間）に必要な「子どもに関わる大人同士の連携・協働」について、幼稚園と小学校の縦のつながり、幼稚園と保育園との横のつながり、公民館とのつながりを深めるための実践が報告されました。

職員間の意思疎通・目的共有の試行錯誤をいとわない先生方。「願いや思いは同じ」と語るまっすぐな視線こそが、連携・協働を可能にするのだと教えられました。



宇和島市立吉田小学校

この春、吉田地区の5校が統合されて誕生した新しい吉田小学校。旧小学校で取り組んでいたふるさと学習を残そうとする学校の思いに加え、新しいふるさと学習の試みが報告されました。

企業とのコラボにより、地域の魅力を再発見したり、子どもたちが地域に貢献しようと奮闘したりしているというお話に、大きな期待と可能性を感じました！

実践に刺激され
感想交流も
盛り上がりました！



宇和島市立津島中学校

「津島町に誇りや愛着を持つ生徒を育てたい」という思いから取り組んでいる地域での活動の数々が報告されました。

中学生が、学校運営協議会で熟議に参加する中で、地域への思いに向き合ったり、ボランティア活動を重ねながら、地域への思いを強くしたりしていく様子は、子どもたちと大人が共創する地域の未来を予感させるものでした。



企画・編集・制作

宇和島市地域学校協働本部